

小学生を対象とした個人情報の大切さに係る出前授業（概要）

日 時：平成 31 年 1 月 8 日（火）11:40～12:25

場 所：鹿児島県大和村立大棚小学校

対 象：全校児童 12 名

概 要

（はじめに）

講師の自己紹介に続いて、授業の目的を説明。

- 個人情報はルールに従って取り扱えば便利なものである反面、不適切な取扱いをすれば自分自身だけでなく、周りの人に迷惑をかけてしまう危険があること、そもそも個人情報とは何か、ということから理解をし、個人情報の大切さ、取扱いにあたっての注意点を学ぶこと等を説明。

（授業内容）

小学生向けの説明動画（※）を活用しながら、個人情報やその取扱いについてのポイントごとに講師からの問いかけに児童から答えてもらいつつ、講師から解説。

＜主なやりとり＞

講師） 表札や名前が映り込んだ写真をインターネットに投稿することについて、どこが注意点か。

児童） 表札で住所や名前がわかってしまうこと。

講師） 世界中誰でも見ることのできるインターネットの世界に、個人情報を公開することになってしまう。

講師） そもそも個人情報にはどんなものがあるのか。

児童） 名前や住所、電話番号など。

講師） 誰のものかわかれば個人情報であり、写真も個人情報になり得る。

講師） なぜ個人情報をむやみにインターネットに投稿したり、知らない人に勝手に渡してはいけないのか。

児童） 悪用されてしまう危険がある。

講師） 個人情報を悪用されると、住所が特定されて家にいたずらをされたり、待ち伏せされて誘拐される危険がある。

講師） （個人情報が記載されているブログの文書を例題として、）文章のどの部分が個人情報に該当するか。

児童） 家の車の車種や、母親との買い物の予定など。

講師） 家族や友人の外出予定を記載することで、家に誰もいない状況であ

ることを知らせることにもなる。

(※) (動画) 取扱注意！みんなの大切な個人情報

https://www.ppc.go.jp/aboutus/kids/movie/kodomomuke_jimaku/

(まとめ)

最後に、授業でのやりとりを踏まえたメッセージを講師から伝達。

- ・ インターネットを利用する際の事例をとり上げることが多かったが、今はまだインターネットを使っていなくても、将来使うことになったときは今日の授業を思い返すようにしてほしい。
- ・ 個人情報は大切なものであり、むやみにインターネットへ投稿したり、知らない人に渡さないということは頭で理解していても、行動が伴わないと意味がない。その都度しっかり冷静に判断をすることを基本として、判断がつかない場合は保護者に相談するなど、慎重に対応することが重要。

(児童、小学校の皆さんの感想)

4年男子) ぼくはふだんインターネットはあまり使わないけど、いつか使う時が来たら、個人情報が載ってないか気を付けて使いたいと思いました。

6年女子) もうすぐ中学生になるので、きっと SNS もするようになると思う。その時は、個人情報が載っていないか気をつけて正しく使いたいと思いました。

教 師) 専門組織の方の授業とあって、子どもたちはとても真剣に学習に臨んでいました。また、我々教員もネットの有効活用と個人情報保護の両立について考えながら、子どもと一緒に学習させていただき、大変よい勉強になりました。

授業風景

